



初期研修のあゆみ

外科研修の1日

1

自己紹介

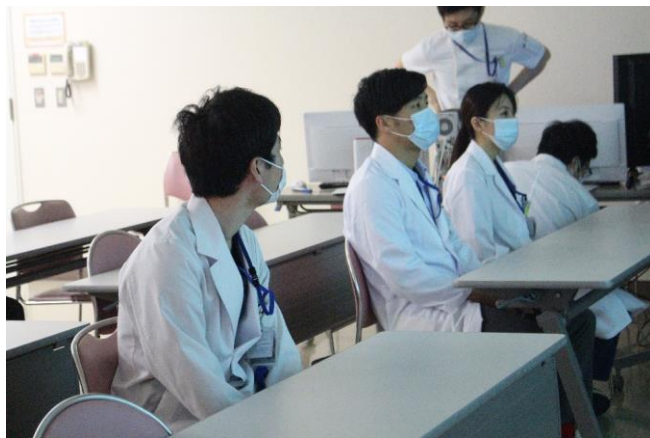


京都大学出身 初期研修医1年 中 悠汰郎(なか ゆうたろう) です。

4月から6月は消化器外科、7月は総合内科、8月は脳神経外科、9月は循環器内科、10月は消化器内科をローテーションする予定です。1か月研修してみて、出来ない自分がわかりました。もっといろいろな経験をしたいと思っています。

2

8:00 朝の カンファレンス



**消化器外科は月曜日、木曜日に
8:00から朝のカンファレンスを行って
います。**

**この日は上級医が手術予定の担当
患者の説明し、術式、術後のケアな
ど話し合っていました。**

**毎週火曜日の18:00からは消化器
外科・乳腺外科の合同カンファレンス
が行われます。**

3

8:00

朝の
カンファレンス
～ 同期と ～



毎月2名～3名の研修医がローテーションしています。
5月は中先生、西郷先生(山口大学卒)、高橋先生(浜松医科大学卒)がローテーション中です。

4

8 : 30

カンファ
レンス後



カンファレンス後は病棟へ向かいます。初期研修医は必ず上級医からの指導を受けます。同期の西郷先生には林先生(卒後5年目)が指導にあたっています。

5

10 : 00
手術中



肝臓がんの摘出手術が行われ、補助者として参加しました。大場副院長の指導の下、緊迫した手術を経験しています。消化器外科では1日に1～2件の手術を研修しています。

(左:術者 高木先生 中央奥:助手 阿久津先生 中央手前:中先生 右:大場副院長)

6

10 : 00
手術中の様子

当院の消化器外科は1日8件ほどの手術が行われ、年間では約2000件行われています。この手術件数は全国でもトップクラスのオペ数となっております。



指導医 渡辺先生手洗い中



7

12 : 30
昼食中

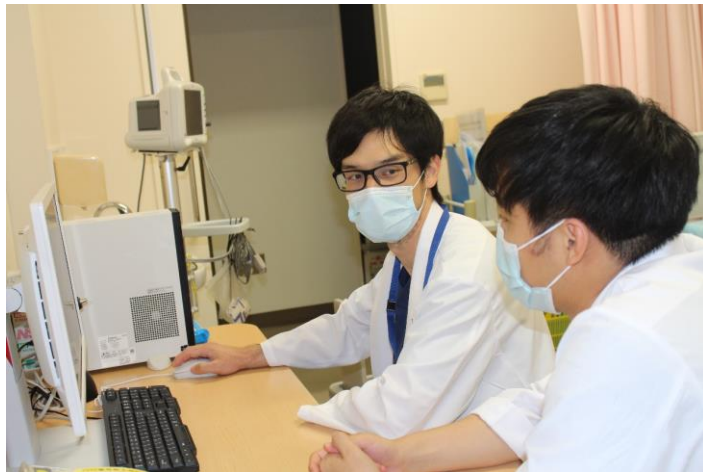


手術が終了した後は、上級医の阿久津先生と一緒に昼食を食べています。

8

14 : 00

上級医からの
指導



上級医の徳田先生(卒後9年目)と画像を診ながらの勉強です。徳田先生が中先生に症例を提示し、どのような治療を行っていくかを問い、その答えに対する議論をしています。

9

15 : 00
回診①



手術後の患者様の回診です。大場副院長と一緒に傷の状態やチューブ交換・ガーゼ交換を行っています。

10

15 : 00

回診②

部長回診には病棟の看護師・管理栄養士・薬剤師が必ず同席します。
各科のチーム医療を学ぶことも研修の醍醐味です。



11

大場副院長より

～医学生へ
メッセージ～

静岡県立総合病院副院長・消化器外科部長の大場です。当院は静岡県の県都静岡市(人口70万人)にある病院で救急疾患・悪性腫瘍・循環器疾患などほとんどの病気を治療しています。症例数では大学病院に負けません。また雰囲気は自由で一学年約20名の研修医は誰も日々のびのびと研修しています。

わたくしの属する消化器外科でも常時2～3名が研修しています。手術に入って縫合などのスキルを学ぶほか、部長回診では自分にかわり約70名の患者さんと会話しながら必要な創部の処置をしてもらっています。はじめは何をはなしていいか戸惑っていますが、何度か回診を経験するにつれ医師らしい会話ができるようになります。

温暖な気候に恵まれ自由な雰囲気の当院で研修してみませんか？

